

参加料	
早期割引料金 (6月6日(火)まで ※キャンセル不可)	
会員(正会員・事業所会員) JMA法人会員・協賛団体会員	一般価格
14,040円(税込み) <small>(本体価格13,000円 消費税1,040円)</small>	16,200円(税込み) <small>(本体価格15,000円 消費税1,200円)</small>
通常料金 (6月7日(水)~当日 ※キャンセル可(下記規定))	
会員(正会員・事業所会員) JMA法人会員・協賛団体会員	一般価格
16,200円(税込み) <small>(本体価格15,000円 消費税1,200円)</small>	18,360円(税込み) <small>(本体価格17,000円 消費税1,360円)</small>

※「早期割引」申込み分のキャンセルは、ご容赦ください  
※上記参加料にはテキスト代・昼食代が含まれています

●会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください  
http://www.jipm.or.jp/memberlist/  
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会HP  
https://www3.jma.or.jp/jma-member/list\_new/n\_member\_list.php  
一般社団法人 日本能率協会HP

会員以外の方は、この機会にぜひ当会へのご入会をご検討ください

ご注意・お願い

・天変地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等のサービスの停止、官公庁の指示等の、当会が管理できない事由によるイベントの内容変更・中止のため生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます  
・録音・録画に使用する機材の持込みをお断りいたします

会場案内の地図は、受付票・請求書をお送りする際に、同封いたします

参加申込み方法

・下記申込み書に必要事項を記入のうえ、ファクシミリにてご送付ください。電話での申込みは受け付けておりません  
・開催の約2週間前より、派遣窓口担当者様あてに受付票・会場案内と請求書を送付します。請求書が届き次第、当会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください。また、お支払いは原則として開催後1ヶ月以内にお断りいたします

お申込み先

●申込みの確認は、TEL 048-470-3710までお願いいたします  
株式会社アイ・イーシー 通信教育・セミナー受付センター  
FAX: 048-470-2702

※当会ではセミナー・イベントの申込手続きに関する業務を株式会社アイ・イーシーへ委託しております

お問い合わせ先

●内容についてのお問い合わせは、中部事務所までお願いいたします  
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 中部事務所  
TEL: 052-561-5634  
Mail: jipmchuubu@jipm.or.jp

キャンセル規定

・参加予定の方が当日参加できない場合は代理の方がご参加ください。代理の方の参加も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けます(キャンセルはファクシミリでのみ申し受けます)  
・開催当日および前日の参加取消し...参加料全額(参加料入金済の場合、返金いたしません)  
・開催の2日前~7日前の参加取消し...参加料の30%(参加料入金済の場合、70%を返金いたします)  
\*いずれも土日曜・祝祭日を含みません

(注)太線の枠内をご記入ください 請求書と受付票は、派遣窓口担当者様あてに送付いたします。それ以外をご希望の場合は備考欄にご記入ください。

参加申込み書

MA-1013 活動事例発表会 2017 関西地区大会		開催日: 2017年6月21日(水)	
<input type="checkbox"/> 内にレ印でチェックをお入れください <input type="checkbox"/> 会員(正会員・事業所会員) <input type="checkbox"/> 協賛団体会員 <input type="checkbox"/> JMA 法人会員 <input type="checkbox"/> 一般			
ふりがな	ふりがな	備考欄(連絡・希望事項・協賛団体名)	
会社名	事業場名		
所在地	〒 - ( ) - ( ) - ( )		
TEL ( ) - ( ) - ( )	FAX ( ) - ( ) - ( )		
ふりがな	所属 役職名		
派遣窓口 担当者名			
E-mail	@		
※上記参加料にてご確認ください			
@	円(税込み)	×	名
合計		円(税込み)	
受付	登録	発送	

●個人情報の取扱いについて  
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただきます場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ(http://www.jipm.or.jp/)をご覧ください。

かがやく技術!! 技術をみがけ!!

柔軟な発想と熱意で成し遂げた“製造現場の改善活動”が大集合!!

第45回 全国設備管理強調月間記念行事

# 活動事例発表会2017

2017年 10:30・16:30 (受付10:00~)

## 6月21日 水

参加対象  
設備管理部門  
製造部門  
生産技術部門  
教育・人事・労務部門  
等

PROGRAM  
事例発表(2会場15事例)  
発表者と参加者の交流会  
(意見交換会)

活動事例発表会とは  
日本プラントメンテナンス協会では、1973年より毎年6月を「全国設備管理強調月間」として、設備管理意識の啓発・高揚に努めております。この一環として全国7地区8会場にて活動事例発表会を開催します。  
本大会では、日頃のモノづくり現場における改善活動の成果を企業様にご発表いただき、現場のみなさんのモチベーションUPと、地域企業様の発展に寄与することをめざします。

会場 クリエイターズプラザ (大阪府東大阪市)

主催 公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会  
後援 経済産業省、厚生労働省、環境省、愛知県、福岡県  
協賛 公益社団法人化学工業会/一般財団法人省エネルギーセンター/公益社団法人全日本能率連盟/一般社団法人中部産業連盟/一般財団法人日本科学技術連盟/一般社団法人日本化学工業協会/一般財団法人日本規格協会/一般社団法人日本産業機械工業会/公益財団法人日本生産性本部/一般社団法人日本設備管理学会/一般社団法人日本鉄鋼連盟/一般社団法人日本能率協会/日本メンテナンス工業会/公益社団法人大阪府工業協会/関西化学工業協会/公益社団法人山陽技術振興会/一般社団法人富山県アルミ産業協会/一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会/中国地区品質経営協会/一般社団法人富山県機電工業会/一般社団法人富山県経営者協会/一般社団法人北海道機械工業会/地方独立行政法人北海道立総合研究機構工業試験場/三重県高圧ガス安全協会/一般社団法人みやぎ工業会/山口県高圧ガス保安協会/公益財団法人やまぐち産業振興財団

お問い合わせ 公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 中部事務所  
電話 052-561-5634 E-mail jipmchuubu@jipm.or.jp

10:30 ～10:40	開会あいさつ																																																									
	A 会場	B 会場																																																								
10:40 ～11:00	<p><b>事例①</b></p> <p><b>壊れる前が見つける！！ 設備故障ロスとの別れ！</b></p> <p>株式会社クボタ 堺製造所 臨海工場 生産技術グループ 班長</p> <p style="text-align: right;">中島 貴之</p>	<p><b>事例①</b></p> <p><b>移動タンクシステム 保全方法の構築によるトラブルゼロ化への挑戦</b></p> <p>サントリープロダクツ株式会社 宇治川工場 調合グループ</p> <p style="text-align: right;">長澤 宏行 中村 正良</p> <p>移動タンクシステムの導入時から慢性的なトラブルが発生しており、故障ロスによる生産効率低下に繋がっていた。自主保全活動を軸としたサークル活動で設備保全技術力向上と設備改善を全員取り組んで、保全方法の確立によるトラブルゼロ化を実現した事例を紹介</p>																																																								
11:10 ～11:30	<p><b>事例②</b></p> <p><b>不織布製造工程の工程安定化</b></p> <p>東レ株式会社 滋賀事業場 工務部工務保全課</p> <p style="text-align: right;">下村 尚史</p>	<p><b>事例②</b></p> <p><b>GMPに対応したフィルター管理の見える化と タブレット活用事例報告</b></p> <p>藤森工業株式会社 三重事業所 総務課 施設</p> <p style="text-align: right;">若松 大輔</p> <p>医薬品包装材料を製造するGMP対応事業所の為、現場のクリーン度の維持点検が重要課題である。業者のマスターファイルを使用し管理を実施していたが、確実に点検が実施出来ているかが担当者しかわからなかった。そこで誰が見てもわかるようにマスターファイルを見直し、状況がわかるように改善を実施した。また工場の日常点検を手書きからタブレット入力に変更し作業を軽減、データ化することで傾向管理を実施した</p>																																																								
11:40 ～12:00	<p><b>事例③</b></p> <p><b>PEX最終工程作業ロス“ゼロ”</b></p> <p>積水化学工業株式会社 滋賀栗東工場 栗東積水工業株式会社 オレフィン製造課</p> <p style="text-align: right;">浜崎 一步</p>	<p><b>事例③</b></p> <p><b>フレンチトーストラインでの 投入作業自動化による少人化</b></p> <p>敷島製パン株式会社 神戸工場 製造一課 特殊パン係 班長</p> <p style="text-align: right;">堀口 仁史</p> <p>フレンチトーストラインでは、生産数量の増加が見込まれる新製品の発売により、通常より作業者の増員が必要であった。このことから人員確保の為、2名の少人化を目指した。からくり改善によって投入作業の自動化に成功した。この活動により2名の少人化に成功し、製品一つ当たりの原価低減にも成功した事例</p>																																																								
12:10 ～12:30	<p><b>事例④</b></p> <p><b>ノンストップライン (ワンパッチスルーものづくり工程)の実現</b></p> <p>サントリープロダクツ株式会社 高砂工場 調合グループ 課長</p> <p style="text-align: right;">定森 省吾</p>	<p><b>事例④</b></p> <p><b>組立生産ラインにおける混流生産化の確立</b></p> <p>コニカミノルタ株式会社 堺サイト 生産本部生産技術センター 第2製造技術部 センシング製造技術グループ</p> <p style="text-align: right;">三浦 徹</p> <p>いままでセル生産体制で一台流れ生産方式をとっていたが、今後10年先を見据え、生産変動に耐えうるフレキシブルな生産体制を確立していくことになった。これを実現するために混流ライン化を取り上げ、多能工化や工数平準化、作業スペースコンパクト化等々のメリットが出た事例をご紹介します</p>																																																								
12:30 ～13:20	昼 食 休 憩																																																									
13:20 ～13:40	<p><b>事例⑤</b></p> <p><b>欠減・残酒量の削減</b></p> <p>白鶴酒造株式会社 灘魚崎工場 原酒殺菌グループ</p> <p style="text-align: right;">小林悠一郎 前川 亮弥</p>	<p><b>事例⑤</b></p> <p><b>なぜから始める 故障と安全リスク低減への挑戦</b></p> <p>株式会社クボタ 阪神工場 武庫川事業所 生産技術課 営繕グループ</p> <p style="text-align: right;">橘木 祥三</p> <p>管回転不良故障により、品質不良及び、ライン停止が頻繁に起きている。又、検知リミット取替時、高温物との接触により、火傷をする危険がある。この2件問題を解決するため、定期点検、改良保全を行い、故障ゼロ、安全リスク低減を達成した改善事例を紹介</p>																																																								
13:50 ～14:10	<p><b>事例⑥</b></p> <p><b>人と設備の成長による清掃点検給油時間短縮</b></p> <p>敷島製パン株式会社 神戸冷食プラント 製造課ペーストリー係 めん帯ライン</p> <p style="text-align: right;">櫻崎 奈々</p>	<p><b>事例⑥</b></p> <p><b>機械加工における適用範囲の拡大</b></p> <p>日立造船株式会社 堺工場 製造部 機械・組立課 作業長</p> <p style="text-align: right;">南野 雅史</p> <p>シールド掘進機を機械加工するにあたり、ターニングマシンに集中し、計画工期に対応出来ず、外注メーカーに依存する状態。工作機械の適用範囲を広げ、操業度安定及び、コスト削減を図る</p>																																																								
14:20 ～14:40	<p><b>事例⑦</b></p> <p><b>高重要度ユニット型汎用機器の信頼性向上</b></p> <p>旭化成株式会社 生産技術本部 設備技術センター 守山設備技術部 守山電計技術課 ハイボア電計保全グループ</p> <p style="text-align: right;">縄野 優介</p>	<p><b>事例⑦</b></p> <p><b>成型編機の設備総合効率向上による 生産数量拡大</b></p> <p>グンゼ株式会社 アパレルカンパニー インナー事業本部 生産本部 宮津工場 編織課 係長</p> <p style="text-align: right;">大槻 武司</p> <p>差異化技術を使った成型商品(ボクサーブリーフ)は近年販売を拡大しており増産をする必要があるが、設備投資や外注生産対応ではなく、生産性向上(人的効率:ロスの減少、設備効率:性能稼働率、良品率の向上)により対応をしたもので、その取組んだ改善内容の発表</p>																																																								
14:50 ～15:10	<p><b>事例⑧</b></p> <p><b>中国の自主保全人材の強化</b></p> <p>オムロン株式会社 京都事業所 グローバルものづくり革新本部 ものづくり人材開発部 主査</p> <p style="text-align: right;">松尾 聖二</p>	<p>①狙い:中国工場の不足する専門保全マンの業務の一部を製造オペレータ(ラインリダー)に役割を持たせる。②背景:近年は、雇用したくても専門保全マン自体が不足しており、一人あたりの保全業務のボリュームが増え、設備の故障放置があちこちに見られるのが現状。③発表の重点ポイント:オペレータ(ラインリダー)に自主保全のSTEP1~3を指導教育し、現場実践活動につながるまでのプロセスを、成功事例、失敗事例を交えてその成果を伝える</p>																																																								
15:30 ～16:10	<p><b>発表者・参加者の交流会</b></p> <p>発表者と参加者の質疑応答・意見交換・情報交流を目的とした時間です(当日は名刺をご持参ください)</p>	<p><b>全国設備管理強調月間 関西地区実行委員(敬称略)</b></p> <table border="1"> <tr> <td>委員長</td> <td>株式会社カネカ</td> <td>岩澤 哲</td> <td>大阪ガス株式会社</td> <td>元江 正史</td> <td>株式会社クボタ</td> <td>鳥崎 雅幸</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>グンゼ株式会社</td> <td>阿武 克也</td> <td>新日鐵住金株式会社</td> <td>田中 敬二</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>新日鐵住金株式会社</td> <td>廣田 大輔</td> <td>住友化学株式会社</td> <td>西本 太一</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>住友化学工業株式会社</td> <td>山口 明宏</td> <td>積水化学工業株式会社</td> <td>中武 純夫</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ダイキン工業株式会社</td> <td>内海 靖浩</td> <td>株式会社日本船業</td> <td>西村 武</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>パナソニック株式会社</td> <td></td> <td>パナソニック株式会社</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>アプライアンス社</td> <td>垂水 知士</td> <td>エソソリューションズ社</td> <td>井口 雅之</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>三井化学株式会社</td> <td>石江 正文</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	委員長	株式会社カネカ	岩澤 哲	大阪ガス株式会社	元江 正史	株式会社クボタ	鳥崎 雅幸				グンゼ株式会社	阿武 克也	新日鐵住金株式会社	田中 敬二				新日鐵住金株式会社	廣田 大輔	住友化学株式会社	西本 太一				住友化学工業株式会社	山口 明宏	積水化学工業株式会社	中武 純夫				ダイキン工業株式会社	内海 靖浩	株式会社日本船業	西村 武				パナソニック株式会社		パナソニック株式会社					アプライアンス社	垂水 知士	エソソリューションズ社	井口 雅之				三井化学株式会社	石江 正文		
委員長	株式会社カネカ	岩澤 哲	大阪ガス株式会社	元江 正史	株式会社クボタ	鳥崎 雅幸																																																				
			グンゼ株式会社	阿武 克也	新日鐵住金株式会社	田中 敬二																																																				
			新日鐵住金株式会社	廣田 大輔	住友化学株式会社	西本 太一																																																				
			住友化学工業株式会社	山口 明宏	積水化学工業株式会社	中武 純夫																																																				
			ダイキン工業株式会社	内海 靖浩	株式会社日本船業	西村 武																																																				
			パナソニック株式会社		パナソニック株式会社																																																					
			アプライアンス社	垂水 知士	エソソリューションズ社	井口 雅之																																																				
			三井化学株式会社	石江 正文																																																						
16:10 ～16:30	<p><b>表彰式</b></p> <p>第45回全国設備管理強調月間入選者の表彰、「優秀改善賞」「奨励賞」の発表・表彰</p>																																																									
16:30～	閉会あいさつ																																																									